

新庄市子ども・子育て支援事業計画

《中間評価》

(分析イメージ)

令和5年 月

新庄市子ども・子育て支援事業計画の中間評価の方法について

◎以下の2点について、評価を実施します。

Ⅰ 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保の内容等の見直し

評価の指標	保育所・幼稚園・認定こども園等で提供している教育・保育の定員数
評価の方法	<p>①実績値の把握 (R3.4.1 時点)</p> <p>②実績値について、教育・保育給付認定区分ごとに、市町村計画における「量の見込み(必要利用定員総数)」と比較し、10%以上の乖離がある場合は、原則見直しを行います</p> <p>※ 実績値 $\frac{\text{実績値}}{\text{量の見込み}} \leq 90\%$ 又は $\frac{\text{実績値}}{\text{量の見込み}} \geq 100\%$</p> <p>③要因分析 ②を踏まえて、見直しが必要と判断した場合は、乖離している要因について分析する必要があります</p> <p>④「量の見込み」の補正</p> <p>見直しが必要と判断した場合、③の要因分析を踏まえて「量の見込み」の補正を行います</p>

2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保の内容等の見直し

評価の指標	地域子ども・子育て支援事業の利用数
評価の方法	教育・保育の「量の見込み」の見直し及び提供体制の確保の内容の変更に併せて、必要に応じ「量の見込み」の見直し及び提供体制の確保の内容の変更を行います

※新型コロナウイルス感染症の影響に十分留意した上で「量の見込み」

等の見直しを行っていただきたい。

Ⅰ 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保(例)

【新庄市子ども・子育て支援事業計画(47ページ)】

		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和5年度			
		1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	
①量の見込み(必要利用定員総数)		152	556	357	135	493	381	132	481	388	125	456	385	125	454	377	
②確保の内容	給付対象	教育・保育施設(計画) (幼稚園、保育所等)	266	595	296	266	595	296	266	595	296	266	595	296	266	595	296
		教育・保育施設(実績) (幼稚園、保育所等)															
		地域型保育事業(計画) (小規模保育、事業所内保育等)	-	-	75	-	-	75	-	-	75	-	-	75	-	-	75
		地域型保育事業(実績) (小規模保育、事業所内保育等)															
	給付対象外	企業主導型保育施設(計画)	-	7	31	-	7	31	-	7	31	-	7	31	-	7	31
		企業主導型保育施設(実績)															
		認可外保育施設(計画)	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	15
		認可外保育施設(実績)															
	②-①(計画)		114	46	60	131	109	36	134	121	296	141	146	32	141	148	40
	②-①(実績)																

○現状

表により現状を読み取る

○分析

現状より要因を分析する

○今後の対応方策

計画期間内での対応を検討する

2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び

提供体制の確保(例) 【新庄市子ども・子育て支援事業計画(49ページ～)】

(1)利用者支援事業

事業概要	保健師等の専門性を活かし、妊娠期から子育て期にわたり母子保健や地域の子育て支援事業等の情報提供や必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	0 か所	0 か所	0 か所	1 か所
実施箇所	0 か所	0 か所	0 か所	1 か所
課題・今後の方向性	子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの継続支援を強化しています。今後も関係機関との連携を密にして支援していきます。			

【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者支援事業	①量の見込み	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
	②確保の内容(計画)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(2) 地域子育て支援事業

事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談・助言、情報の提供その他の援助を行う事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実施箇所	3 箇所	3 箇所	3 箇所	3 箇所
見込み量(計画値)	7,116 人日	6,726 人日	6,650 人日	6,650 人日
延べ利用人数	7,116 人日	6,726 人日	5,446 人日	4,941 人日
課題・今後の方向性	0~2歳児の保育施設への入所率が上昇したため、利用が減少しています。地域の子育て拠点として、今後も地域支援活動を実施していきます。			

◇検討【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
地域子育て支援事業	①量の見込み	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日
	②確保の内容(計画)	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日	5,000 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(3) 妊婦健康診査

事業概要	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査を実施する事業。
------	--------------------------------------

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	409 人	365 人	400 人	400 人
延べ利用人数	409 人	365 人	354 人	344 人
課題・今後の方向性	出生数は年々減少傾向にあります。今後も妊娠・出産のための支援を継続します。			

◇検討【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
妊婦健診検査	①量の見込み	324 人	312 人	300 人	290 人	280 人
	②確保の内容(計画)	324 人	312 人	300 人	290 人	280 人
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(4) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

事業概要	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。
------	--

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	272 人	243 人	250 人	250 人
利用人数	272 人	243 人	220 人	226 人
課題・今後の方向性	里帰りなどにより長期に滞在する場合、訪問時期が遅れがちです。4か月健診まで全ての母子に面談できるよう、今後も他事業との連携を密にし、継続して推進していきます。			

◇検討【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
乳幼児家庭 全戸訪問事業	①量の見込み	212 人	206 人	202 人	197 人	192 人
	②確保の内容(計画)	212 人	206 人	202 人	197 人	192 人
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(5) 養育支援事業

事業概要	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言を行うことにより、家庭における適切な養育を支援する事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	20 人	20 人	20 人	20 人
延べ利用人数	20 人	20 人	23 人	56 人
課題・今後の方向性	出生数が減少する一方で、養育支援が必要な人は増加しています。継続した支援方法として通常の訪問の他、電話訪問、関係機関との同行訪問等も合わせて実施し、今後も関係機関と連携してきめ細やかな対応に努めます。			

◇検討 【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
養育支援事業	①量の見込み	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	②確保の内容(計画)	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ事業)

事業概要	保護者の疾病等により、家庭での養育が一時的に困難となった児童を、施設等に入所させ、必要な保護を行う事業。
------	--

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	116 人日	161 人日	163 人日	162 人日
延べ利用人日	10 人日	50 人日	56 人日	94 人日
課題・今後の方向性	一時保護児童・施設入所児童が増加し、施設の受け入れが困難な場合もあり、利用件数が伸び悩んでいます。児童及びその家庭の福祉の向上を図る事を目的としている事業であり、今後も周知を図りながら事業を継続する必要があります。			

◇検討 【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
子育て短期支援事業	①量の見込み	80 人日	80 人日	80 人日	80 人日	80 人日
	②確保の内容(計画)	80 人日	80 人日	80 人日	80 人日	80 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(7) ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)

事業概要	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	148 人日	115 人日	240 人日	240 人日
延べ利用人数	148 人日	115 人日	297 人日	180 人日
課題・今後の方向性	直近の数値では、利用数が減少していますが、依頼会員と協会員は共に増加し、受け入れ体制が強化されています。子育てと仕事の両立への安心感の確保につながる事業であり、今後も協会員の人材養成や会員の確保に努めます。			

◇検討【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ファミリー・サポート・センター事業	①量の見込み	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日
	②確保の内容(計画)	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(8) 一時預かり事業

事業概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児に対して、主として昼間に幼稚園、保育所等において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業。
------	--

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値) 幼稚園の一時預かり	19,767 人日	18,759 人日	15,000 人日	15,000 人日
幼稚園の一時預かり	19,767 人日	18,759 人日	8,744 人日	8,730 人日
見込み量(計画値) 保育所の一時保育	1,271 人日	993 人日	1,000 人日	1,000 人日
保育所の一時保育	1,271 人日	993 人日	617 人日	350 人日
課題・今後の方向性	保護者の方の短時間就労や通院、又は育児リフレッシュ等により、一時的に保育が必要となる世帯があり、今後も事業の継続は必要です。			

◇検討 【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
幼稚園の 一時預かり	①量の見込み	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日
	②確保の内容(計画)	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日	10,000 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					
保育所の 一時保育	①量の見込み	500 人日	500 人日	500 人日	500 人日	500 人日
	②確保の内容(計画)	500 人日	500 人日	500 人日	500 人日	500 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

- ①現状 表により現状を読み取る
- ②分析 進捗状況より理由を分析する
- ③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(9) 延長保育事業

事業概要	保育認定を受けた児童について、通常の利用時間以外の時間に、保育所等において保育を実施する事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見込み量(計画値)	94 人	77 人	80 人	80 人
延べ利用人数	94 人	77 人	89 人	51 人
課題・今後の方向性	保護者の就労形態の多様化等により延長保育においても利用ニーズが見込まれることから、今後も保護者の利便性の向上を図っていきます。			

◇検討 【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延長保育事業	①量の見込み	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
	②確保の内容(計画)	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

- ①現状 表により現状を読み取る
- ②分析 進捗状況より理由を分析する
- ③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(10) 病児保育事業(病児・病後児事業)

事業概要	病児について、保育施設等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を行う事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実施施設数 (病児・病後児対応型)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
見込み量(計画値)	529 人日	202 人日	200 人日	200 人日
児童数	529 人日	202 人日	89 人日	124 人日
課題・今後の方向性	29 年度より地域子ども・子育て支援事業として実施している数値を記載しています。ニーズ調査においては、利用希望が増加している一方で認知度が低いと思われるため、利用方法等の周知が必要です。本事業は仕事と育児を両立している保護者を支援する観点からは必要不可欠な施策です。			

◇検討 【今後の見込み量・供給量】

事業名	内容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
病児保育事業 (病児・病後児 対応型)	①量の見込み	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日
	②確保の内容(計画)	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日	200 人日
	②確保の内容(実績)					
	②-①(計画)					
	②-①(実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(11) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

事業概要	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や週末等に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業。
------	---

【現在の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実施施設数	10 か所	10 か所	10 か所	10 か所
見込み量(計画値) (低学年 1~3 年)	289 人	295 人	290 人	300 人
延べ利用人数 (低学年 1~3 年)	289 人	295 人	290 人	299 人
見込み量(計画値) (高学年 4~6 年)	58 人	63 人	75 人	80 人
延べ利用人数 (高学年 4~6 年)	58 人	63 人	75 人	80 人
課題・今後の方向性	児童数は減少しているものの、利用希望者は増加しています。また、高学年の利用希望も増加しており、今後もその傾向は継続すると予測されます。老朽化した施設や狭隘な施設もあり、分園等の施設整備による保育の質の改善、支援員の確保等について検討し、放課後の居場所づくりを進めます。			

◇検討【今後の見込み量・供給量】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施施設数	10 か所	10 か所	10 か所	10 か所	10 か所
①見込み量・供給量1年(計画)	135 人	150 人	125 人	140 人	120 人
②見込み量・供給量1年(実績)					
①見込み量・供給量2年(計画)	130 人	135 人	150 人	125 人	140 人
②見込み量・供給量2年(実績)					
①見込み量・供給量3年(計画)	95 人	100 人	115 人	125 人	105 人
②見込み量・供給量3年(実績)					
①見込み量・供給量4年(計画)	40 人	50 人	55 人	60 人	70 人
②見込み量・供給量4年(実績)					
①見込み量・供給量5年(計画)	15 人	15 人	15 人	15 人	15 人
②見込み量・供給量5年(実績)					
①見込み量・供給量6年(計画)	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
②見込み量・供給量6年(実績)					
②-① (計画)					
②-① (実績)					

①現状 表により現状を読み取る

②分析 進捗状況より理由を分析する

③今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

事業概要	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業。
------	---

【現在の状況】

	実施実績なし
課題・今後の方向性	国や県の動向を踏まえながら実施を検討します。

◇検討【今後の見込み量・供給

量】

見込み量・供給量	国や県の動向を踏まえながら実施を検討します。
----------	------------------------

①今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する

(13) 多様な事業者の参入を促進する事業

事業概要	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業。
------	--

【現在の状況】

	実施実績なし
課題・今後の方向性	本市の状況を踏まえて、事業の実施を検討していきます。

◇検討【今後の見込み量・供給量】

見込み量・供給量	本市の状況を踏まえて、事業の実施を検討していきます。
----------	----------------------------

①今後の対応方策 計画期間内での対応を検討する